

広報

あんじょう

2010
1/1
No.1704

市民とともに育む
環境首都
安城



あけまして
おめでとうございます



書き初めの由来

正月二日は一年の仕事始めの日とされ、農村では田畑に鍬くわを入れたり、縄作りをしたり、田の神様を祀り米や餅をお供えしました。また商家では、初売りや初荷を出すことが仕事始めにあたります。

書き初めはもともと宮中の儀式のひとつでしたが、江戸時代の寺子屋の普及により、一般に広まったものと言われています。明治以降に学校で習字が必修となると、さらに浸透しました。

年初にくんだ若水で墨をすり、その年の抱負や心構えなどを書き記しますが、昭和のはじめころまでは「寿」や「福」などのめでたい文字や漢詩を書いて、年神棚へ納めたりその年の恵方あきの方角にはったりしたそうです。

書き初めは、小正月のどんと焼きの火に入れば、灰が高く舞い上がるほど、書道が上達すると言われています。

広報あんじょうは、古紙を使用した
再生紙と大豆油インキを使用しています

発行/安城市役所(毎月2回1日・15日) 編集/企画部秘書課広報広聴係(直通)☎0566(71)2202
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23(代表)☎0566(76)1111 FAX 0566(76)1112
市公式ウェブサイト <http://www.city.anjo.aichi.jp/> e-mail: info@city.anjo.aichi.jp